

# 岡山大学病院ますかっと病児保育ルーム Newsletter

vol.12 (2024.2)

## 食物アレルギーと緊急時対応におけるエピペンの使い方について

### ○アナフィラキシーとは

短時間に全身にあらわれる激しい急性のアレルギー反応です。アナフィラキシーとは、アレルギーの原因物質(アレルゲン)に接触したり、体内に摂取したりした後、数分から数十分以内の短い時間に全身にあらわれる激しい急性のアレルギー反応のことをいいます。

### ○アナフィラキシーを引き起こす主な原因(アレルゲン)

・食べ物:卵、牛乳、木の実(クルミ、カシューナッツなど)、小麦、ピーナッツなど

0歳は鶏卵・牛乳・小麦が96%を占めるが、1~2歳群では木の実類が5人に1人、魚卵も8人に1人程度の割合となる。3~6歳群になると新規発症の40%は木の実類となる。

・昆虫に刺されて毒などが体内に入る:スズメバチ、アシナガバチ、ミツバチなど

・薬を飲む、注射する、塗る:抗生物質、解熱鎮痛剤、麻酔薬など

### ○エピペンを使用すべき症状

アナフィラキシーがあらわれた時に使用し、医師の治療を受けるまでの間、症状の進行を一時的に緩和し、ショックを防ぐための補助治療剤(アドレナリン自己注射薬)、それがエピペンです。

### \*消化器の症状

・繰り返し吐き続ける、持続する強い(がまんできない)腹痛

### \*呼吸器の症状

のどや胸が締め付けられる、犬が吠えるような咳、ゼーゼーする呼吸、声がかすれる、持続する強い咳込み、息がしにくい

### \*全身の症状

唇や爪が青白い、尿や便を漏らす、ぐったりしている、脈が触れにくい・不規則、意識がもうろうとしている

※エピペンを処方されている患者さんでアナフィラキシーショックを疑う場合、上記の症状が1つでもあれば使用すべきである

## ○エピペンの使い方

### 使い方

①ケースから取り出す

②グーで握る

③安全キャップをはずす

④太ももの中心から少し外側に当てて強く押し、**5秒間**保持する



## 利用定員、開設時間等

○利用定員 6人

○対象児童 生後6か月から小学校6年生まで

○利用時間 月曜~金曜日 午前8時00分~午後5時30分まで

### お問い合わせ

岡山市北区鹿田町2-5-1 歯学部棟3階

ますかっと病児保育ルーム

TEL 086-235-7301



ホームページはこちら